

# NMSH TOPICS

— VOL.4 2017/3月 —



汲田 伸一郎 院長

## 今月の院長のイチオシ! 『総合診療科』

### 全身的・全人的視野で患者を見つめ 困ったときに頼れる心強い診療科へ

専門医チームが結集し  
24時間365日体制で  
初診患者を受け入れる

総合診療センターは、患者さんにとってわかりやすい診療、迅速かつ適切な医療を提供することを目的に開設されました。中でも総合診療科は内科系診療部門として、どの科を受診すればよいかわからない患者さんや、複数の病気の可能性を持つ患者さんの初期診療を担っています。

循環器・消化器・呼吸器・神経・内分泌代謝・血液・感染症・老年内科など各内科系診療科から専門の医師が集結し、チームワークを生かした診断・治療を可能としています。ほかにも研修医や専修医など多くの若い医師たちも参加し、救急診療にも力を入れています。

各診療科との連携が最も取りやすい日勤帯（8時30分～16時）以外の時間帯も含め、24時間365日初診患者に対応していますので、救急患者でお困りのときも、遠慮なくご相談ください。

専門診療科との連携で  
あらゆる問題を  
早期解決へと導く

当科は全身的・全人的な視野で総合的な診療を行っており、「断らない・待たせない医療」、「できるだけその日のうちに患者さんの問題を解決する医療」をめざしています。診断の困難な症例、どの科へ紹介すべきか悩む症例はぜひ当科へご紹介ください。

また、今後日本が迎えるようとしていく超高齢化社会には、多臓器に障害を有する高齢者を地域全体で管理していく医療システムの構築が求められています。私たちは地域医療機関の先生方と密な連携を取り、多くの問題を抱える高齢者のケアにも貢献したいと考えています。複数の診療科での診療が必要な高齢者の総合的なマネジメントも行いますので、気軽にご相談ください。

なお、当院は特定機能病院として、急性期の問題が解決した後は速やかな逆紹介を徹底しています。ご協力のほどよろしく願います。



## 返書作成率100%をめざして

地域医療機関の先生方よりご紹介いただいた患者さんに関する返書が確実に作成されるよう、未作成確認および作成依頼を行い、漏れのない速やかな返書管理を徹底しています。

平成28年4月から11月までの平均返書作成率は91.0%（全診療科）でした。地域の先生と連携を密に図っていくために、日頃より丁寧な返書作成を心がけ、さらなる工夫を加えて返書作成率100%をめざしてまいります。

	4月	5月	6月	7月
返書作成率 (平成28年調べ)	90%	91%	92%	91%
<b>平均 91.0%</b>	8月	9月	10月	11月
	91%	91%	91%	91%



### 診療体制、医療連携を一層強化し 安心・安全・最善の医療に尽くす

#### 新院長就任のご挨拶

平成29年2月1日付けで、日本医科大学付属病院の院長を拝命いたしました汲田(くみた)伸一郎です。若輩ではございますが、地域医療の発展のために力を尽くす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

さて日本医科大学付属病院ですが、新病院後期工事の真っ最中です。新病院は、安心・安全かつ最善の医療の提供を基盤として、外来・入院の患者さんに快適に診察・治療を受けていただける施設をめざします。また各種拠点病院としての機能強化と充実に向け、外来診療の中央化、総合診療センター、患者支援センター(医療連携室、退院調整室、療養支援室)の拡充を行っています。総合診療センターは、高度救命救急センターと同様、24時間体制の救急対応を行っています。またCCU、SCU部門では、連携医師と結ぶ24

時間対応のホットライン(心臓救急専門ホットライン、脳卒中ホットライン)を構築しておりますので、急性期の循環器疾患が疑われる患者さんにも迅速に対応させていただきます。地域がん診療連携拠点病院としては、地域の医療機関と連携し、質の高い癌の集学的治療の実施をめざしております。外科手術以外にも個々の患者さんの状況に応じて、放射線治療や化学療法などを組み合わせた最良な集学的治療に努めます。

健全な病院運営には、病診連携・病病連携の強化・充実が不可欠です。新病院では『患者さんの満足度』向上に努めるのはもちろん、「けっして断らない」をモットーに、職員一同で迅速な診療対応を心がけていきますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年2月 日本医科大学付属病院

院長 汲田伸一郎